

2024年度 KESエコロジカルネットワーク について

2024年4月

KESエコロジカルネットワーク事務局

2024年度ご参加にあたって

今年度から新たに参加する事業所、継続して取り組んでいる事業所の皆様に、年度の始めに以下の点についてご理解と再確認をしていただきたいと考えています。

1. KESエコロジカルネットワークについて
2. 具体的な取組内容と注意点について
3. 新たな植物の購入方法について

KES環境機構のホームページに掲載された各資料等を必ずご覧ください。

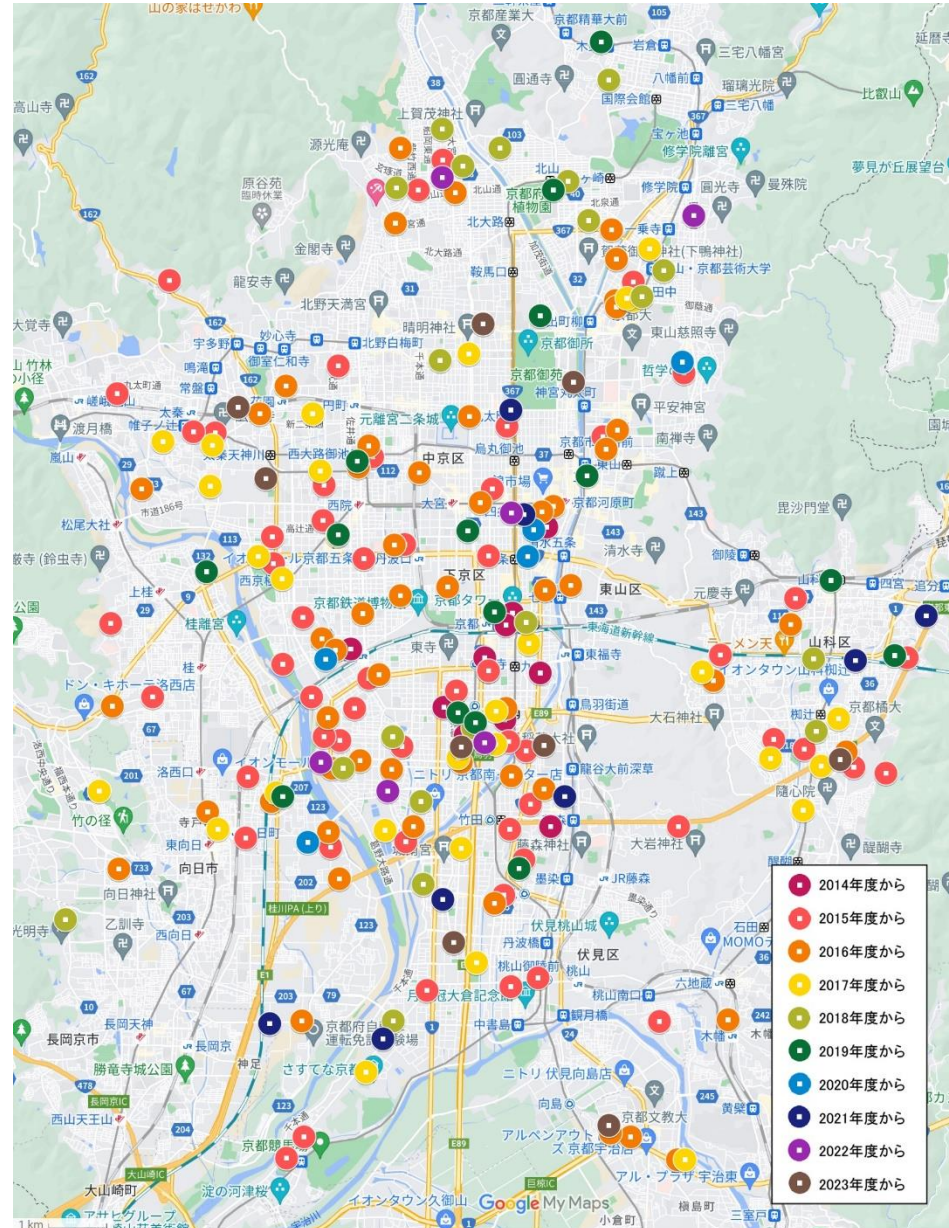
KESエコロジカルネットワークとは

- 2014年3月に「京都市生物多様性プラン」が策定されたことを機に、事業者による生物多様性保全の取組を広げることを目的としています。
- 生物多様性に配慮した緑を増やし、ひとつひとつは小さくても点と点をつないで「ネットワーク化」することで、京都全体の生物の生息環境を向上させます。
- 事業所でそれぞれできる取組から始め、社員や関係者に生物多様性保全の考え方等を広げ、個々が具体的に取り組むきっかけにします。

これまでの経過

- 2014年3月 「京都市生物多様性プラン」策定
- 2014年度 京都駅ビル周辺でパイロット事業実施（18事業所参加）
- 2015年度から本格スタート
2015年度 96事業所
↓
2023年度 251事業所
- 2021年3月 「京都市生物多様性プラン（2021-2030）」策定

2023年度までの参加事業所マップ（京都市周辺部のみ）



KESエコロジカルネットワーク

以下の3つの取組があります。

1. 希少植物の生息域外保全活動

2. 自社敷地内の緑化活動

3. その他生態系保全活動

} 社内

→ 社外（地域）

重視すること

- 京都の文化と生き物との結びつきから、生物多様性保全についての理解を広げること
- KESという仕組みの中で、組織的に責任をもって取り組むこと
- 各事業所の取組を集めてネットワーク化し、地域全体の成果に結びつけること
- 取組を広く知ってもらうことで、参加事業所の貢献について示すこと

様々な場所での貢献と情報提供

- 上賀茂神社での葵里帰り（フタバアオイの奉納）
- 祇園祭会場でのヒオウギの展示
- 梅小路公園での「藤袴と和の花展」での展示
- 京都駅ビル「緑水歩廊」での展示
- 京都御苑「閑院宮邸」前での展示
- 菊溪でのキクタニギク植栽（苗の提供と植栽）



上賀茂神社



祇園祭



梅小路公園



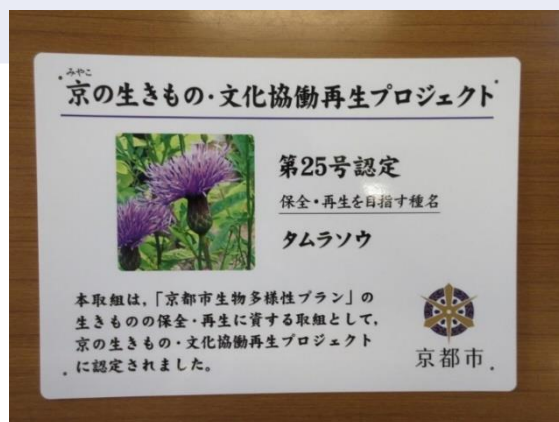
京都駅ビル「緑水歩廊」



菊溪

京の生きもの・文化協働再生プロジェクトの認定（京都市内）

番号	種名	最初の認定	2023年度事業所数
第3号	フタバアオイ・フジバカマ	2014年度から	168
第10号	ヒオウギ・キクタニギク	2015年度から	118
第12号	オミナエシ・カワラナデシコ	2016年度から	47
第16号	アヤメ・ワレモコウ	2017年度から	44
第20号	クリンソウ	2018年度から	18
第21号	ノカンゾウ	2019年度から	18
第25号	タムラソウ	2020年度から	16
第28号	ノハナショウブ	2021年度から	11
第29号	イワギボウシ	2022年度から	21
合計			200



（参考）京生きものミュージアム
「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度【団体版】」
https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/prj_dantai/

プロジェクト構成団体

- 特定非営利活動法人 K E S 環境機構
<http://www.keskyoto.org/>
- 公益財団法人京都市都市緑化協会
<http://www.kyoto-ga.jp/>
- 京都駅ビル開発株式会社
<https://www.kyoto-station-building.co.jp/>
- 京都市（環境政策局環境企画部環境保全創造課）
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-2-2-0-0.html>
- 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
<https://keaa.or.jp/>

お問い合わせ先

KESエコロジカルネットワーク事務局

(公財)京都市環境保全活動推進協会 担当：井上和彦

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内

TEL：075-647-3535 FAX：075-641-0912

メール：agenda@ma21f.jp